

教科等研究会（小学校生活・総合的な学習部会）

令和 3 年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

豊かな体験と表現に支えられ 学びをつなぎ 学びを深める子どもの育成
～児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～

2 研究経過

| 第 1 回 | | | 第 2 回 | | | | 第 3 回 | | | 第 4 回（中止） | | |
|---------|------|--------|---------|--------|---------------------------|------|----------|--------------------------------|--------|-----------|------------------------------|-------|
| 期日 | 人数 | 場所 | 期日 | 場所 | 講師 | 内容 | 期日 | 授業者 | 場所 | 期日 | 授業者 | 場所 |
| 六月七日（月） | 二十六名 | 広安西小学校 | 八月四日（水） | 広安西小学校 | 豊田 麻美 県立教育センター 指導主事 | 理論研修 | 十二月三日（金） | 吉野 由紀子 二年担任 嘉島西小学校 教諭 | 広安西小学校 | 一月二十七日（木） | 古庄 美貴 一年担任 津森小学校 教諭 | 津森小学校 |

3 研究の概要

(1) 研究の内容

今年度の当部会のテーマは、上益城郡教科等研究会全体テーマを受けて、「豊かな体験と表現に支えられ 学びをつなぎ 学びを深める子どもの育成～児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～」とした。このテーマは、昨年度から引き続いて取り組んでいる。

今年度、GIGA スクール構想のもと、タブレット端末が一人一台配備された。生活科や総合的な学習の時間において、児童が学んだことを表現する方法の一つとして ICT の活用にも焦点を当てて研究を進めた。

① 研究主題について

○「豊かな体験と表現」とは

子どもたちの中に感動や葛藤が生じ、知的好奇心を高め、探求的な学習へつなぐことができる体験、及び、活動の楽しさ・気付きや情報を整理・分析したことを、多様な方法によって伝えたりまとめたりすること

○「学びをつなぐ」とは

子どもが「探求的」「横断的・総合的」「協働的」な学習を発展的に繰り返し、気付きの質を高めたり、思考を広げたり深めたりしていくこと

○「学びを深める」とは

自分のよさや成長が分かり、学習したことを自分の生活や生き方に生かし、社会の中での自分を見つめ、主体的に行動していこうとすること

② 研究の視点について

| | |
|---------|-----------------------------|
| 研究の視点 1 | 探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫 |
| 研究の視点 2 | 気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実 |
| 研究の視点 3 | 子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫 |

(2) 成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 県立教育センターから豊田指導主事を招いて講話をしていただき、ICT の授業への活用方法について学ぶことができた。
- ワークショップ形式で理論研修を行ったことで、互いの実践を紹介し合い2学期以降の ICT の活用への参考になった。
- 地域の特色に応じた学習構想が研究授業で示され、地域の人々の思いに気付き、地域の良さや地域の方々の温かさを感じる子ども達の姿が見られた。
- ▲どの学校にも、コロナ禍での体験活動をどのように進めていけばよいのかという悩みがあった。(ICTを活用して交流もできるが、現地に行き行って学ぶことができない等)
- ▲総合的な学習の時間の研究授業ができなかった。教育課程における大きな役割を総合的な学習の時間が担っていることを再認識し、各校で取組を進める必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

第2学年 生活科 単元「もっとなかよし まちたんけん」

授業者 吉野 由紀子 教諭 (嘉島町立嘉島西小学校)

① 研究の視点に沿った授業づくり

【研究視点1】「探求的な学習過程における豊かな体験活動の工夫」

- ・日々の生活で利用する店舗や、安全を守っている交番等、子ども達の身近にある場所を中心に探検に行くことで、地域の方々の思いに触れられるようにする。

【研究視点2】「気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実」

- ・「探検活動→報告会→振り返り」を繰り返し行うことで、自分の考えを広げたり深めたりする。
- ・単元の最後に町探検発表会を設定することで、グループごとに伝える内容を話し合い、どのように表現すると分かりやすいか意見を出し合えるようにする。

【研究視点3】「子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫」

- ・子ども達がそれぞれ紹介したい場所を選びグループを作ることで、一人一人が「このことを伝えたい」という思いを持って学習に取り組めるようにする。

② 授業研究会

○自評

- ・子ども達が地域の方々の思いに触れ、自分の住んでいる地域のよさに気付き、地域に誇りを持ってほしいという思いで単元計画を作成した。
- ・どのようなまとめ方をすると、地域の方々の思いを分かりやすく伝えられるのか悩んだ。
- ・コロナ禍で町探検を受け入れてくださる施設や店舗にも限りがあった。そのため、子ども達の「行ってみたい」という思いを十分に叶えられなかったのではないかと思う。

○研究協議

- ・コロナ禍だからこそ、聞ける思いがあったのではないか。(イベント主催者等)
- ・ICTを活用することで思考を焦点化し、地域の方々の思いにより気付きやすくなる。
- ・2回目の町探検に行く前、1回目の質問の内容を踏まえて質問を考えることで、自分達で課題を見つける時間にもなり、より深い質問ができるようになるのではないか。
- ・2年生の生活科から3年生の社会科への単元構成の繋がりが見えた。3年生では、2年生での町探検の内容を前担任から引き継いで学習に取り組むことで、より深い学習ができると感じた。

○指導助言

- ・コロナ禍で町探検の設定が難しい中、訪問だけではなくアンケートなどを活用し工夫して体験活動を設定されていた。
- ・相手の立場の視点から見ることで、物事を多面的に見る力がついてくる。
- ・店員さんや職員の方々と交流し、他者の思いを知ることは、3年生の社会科に繋がる。

(2) 学習構想案

① 単元構想

| 単元名 | 「もっと なかよし まちたんけん」 | | |
|--|--|---|--|
| 単元の目標 | ○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活しようとする事ができるようになる。 | | |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気づいている。 | 地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したりしている人と自分たちの生活との関わりを見つけている。 | 地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。 |
| 単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿） | | | |
| 地域の人々と関わる活動を通して、地域の様々な人や場所から自分たちの生活との関わりに関心を持ち、親しみや愛着を持ち接することができる児童。 | | | |
| 単元を通じた学習課題（単元の中心的な学習課題） | | 本単元で働かせる見方・考え方 | |
| まちたんけんでわかったことを友だちにわかりやすく伝えよう。 | | 地域の人々との関わりを通し、自分たちの町に愛着をもつ。 | |
| 指導計画と評価計画（12時間取扱い 本時12 / 12） | | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」 |
| 一 | 1 | たんけん計画をたてよう。 ○グループごとに探検の計画を立てて、計画書に記入する。 | 【思】探検計画書、感想 ○探検に行き実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。 |
| 二 | 3 | たんけんに行こう。 ○探検活動を振り返り、気付いたことを記録カードに書く。 | ★【知】記録カード ○地域にある場所には、働く人や生活する人がいることに気付いている。 ★【思】記録カード ○地域で見つけたことを自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域の人や場所の役割を探している。 |
| 三 | 1 | 見つけたことをしょうかいしよう。 ○探検でわかったことを全体の場で紹介する。 | 【思】発表 ○友達の見つけたことと自分の見つけたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。 |
| | 4 | 町の人に聞きに行こう。 ○前回の探検を生かし、質問を考え、探検計画を立てる。 ○町探検に行き、働く人に質問を行う。 | ★【知】記録カード ○探検で関わった地域の人々の、地域に寄せる思いに気付いている。 【知】観察 ○地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いを行っている。 ★【態】記録カード ○地域で関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。 |
| | 3 | わかったことを話し合おう。 ○探検でわかったことをグループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。 ○町探検でわかったことを紹介しあう。 【本時】 | 【知】発表 ○地域には自分たちの暮らしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。 【思】発表 ○自分や友達が関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見出し、地域の人々の良さについて話している。 |

② 本時の学習

ア 目標

地域で働く人の思いについて、友だちの発表と自分たちが見つけたことと比べ、同じような思いがあることに気付くことができる。

| 過程 | 時間 | 学習活動 (◇予想される児童の発言) | 指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等) |
|----|-----|--|--|
| 導入 | 3分 | <p>1 課題をつかむ。</p> <p>① 前時の発表会で、どのような施設に町探検に行きどのような思いがあったか確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> | <p>○前時探検から、児童の意識を引き出す。</p> |
| | | <p>【めあて】 友だちのはっぴょうを聞いて、自分たちが見つけたこととくらべながら、地いきの人の思いを考えよう。</p> | |
| 展開 | 30分 | <p>3 探検でわかったことを発表する。</p> <p>◇ぼくたちの班は、交番に見学に行つてわかったことを発表します。</p> <p>◇給食センターの人は、みんなが給食をのこさず食べてくれると嬉しいそうです。</p> <p>4 友だちの発表を聞いて感想を伝える。</p> <p>◇ぼくたちが発表する場所問いは違うけど、町の人役に立ちたいと思つているところは同じだと思います。</p> <p>◇私は、給食をよく減らしているから、今度からは、もう少し頑張つてみたいと思つました。</p> | <p>○実物投影機等を使って、各グループが伝えたいことを視覚的にもわかるようにする。</p> <p>○発表が苦手な児童は、友だちと一緒に発表できるようにし、安心して発表ができるようにする。</p> <p>○地域に愛着が感じられ、児童が調べたことと地域の人の思いがつながるように、発表の内容に対し、前時までに助言を行い、自信をもって発表することができるようにしておく。</p> <p>○比較を促すように、教師が複数の写真を選び、「似ているよさはないかな。」と発問する。</p> <p>○児童が見つけた地域の人のよさや思いは、一つ一つが大切なよさであると価値づけし、町への愛着が深まるようにする。</p> |
| | | <p>【期待される学びの姿】 友達の発表を聞き、地域の人の思いの共通点に気付く。</p> | |
| | | <p>【具体の評価規準】 思考・判断・表現 ○他のグループが見つけた地域のよさや思いと、自分たちが見つけたこととを比べ、同じようなよさや思いがあることに気付いている。</p> | |
| | | <p>【到達していない児童への手立て】 ○板書に各班の地域の人の思い等を残すことで、自分の発表と比べやすいようにしておく。</p> | |
| 終末 | 5分 | <p>3 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>○振り返りカードに、本時の振り返りを書く。</p> | |
| | | <p>【まとめ】 町ではたらく人は、町の人によるこんでもらえたり、しあわせにすごしたりしてほしいという思いがある。</p> | |
| | | <p>◇地域の人は、みんなに安心・安全な生活を送ってほしい。</p> <p>◇地域の人が安心して買えるように、本を安心・安全に読めるようにのところが似ていました。</p> <p>◇みんなが幸せになるための工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の日の準備。 ・くじ引きの準備。 ・おいしい給食の準備。 ・パトロール。 ・季節の飾りを飾る。 | <p>○めあてを振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>○どんなことに気付いたかを共有する。</p> |

